道徳研修会　資料

人間としての在り方生き方を主体的に探求する道徳教育の在り方

～討議型と協働型道徳授業の教材分析と実践モデル～

茨城大学教育学部　教授　小川哲哉

◎なぜ「道徳プラス」が必要なのか？

▲時代的背景

高度情報化社会　⇒　価値観の多様化（公共性の欠如）
自己中心的な考えの拡大
行動の仕方を知らない傍観者

↓

「自律」と自立ができる高校生の育成
＜「合意形成活動」や「体験活動」の必要性＞
（討議型授業）　（協働型授業）

▲文教政策の大改革

次期学習指導要領　⇒　「主体的・対話的な深い学び」（アクティブ・ラーニング）の必要性
＜現代的課題に取り組む基本的資質能力の育成＞

◎討議型道徳授業とは何か？

＜授業のイメージ＞

グループによる意見交換から全体討議に進み、学級全体の合意形成に到達する話し合い活動

＜学術的背景＞

・問題・課題を発見し、解決を図る学習活動（J. デューイ）

・相互理解できるコミュニケーション活動（J. ハーバーマス）

・共通理解へ導かれる対話活動（Win・Win型対話）

◎討議型道徳授業の資料（教材）

＜資料の構成に不可欠な要素＞

・意見の「相違や対立」が見出せるテーマが含まれている

＜問題・課題解決型学習を誘発する＞

・「日常生活」と関連した具体的で切実な道徳的問題が見出せる

＜学習活動が活性化する＞

・討議活動が「集約・収束」できるストーリー構成になっている

＜新しい価値や規範の創造が図れる＞

◎討議型授業：【教材：みんなの緑地公園】

A市が保有する緑地公園は、自然が豊富で一郎ら地域住民にとって憩いの場となっている。ところが近年、A市の人口増に伴い住宅地にされる計画が持ち上がっている。そのためA市関係者は、今後住民との意見交換会を開く予定である。そして、A市関係者によると、きちんとした意見があれば、住民の意向に合わせて検討するという。一郎は何とかして公園を守りたいと考え、仲間のみんなと意見交換会に参加し、緑地公園の大切さを伝えたいと思った。

【話し合い活動のヒント】

①緑地公園の存続のために問題となっていることは何でしょう。

②緑地公園が地域住民にとってどのような意味があるのかを考えた上で、公園存続のために一郎たちは、どのような意見を伝えればよいでしょうか。意見交換会の参加者が納得できる意見を考えてみましょう。

①緑地公園の存続のために問題となっていることは何でしょう。

②緑地公園が地域住民にとってどのような意味があるのかを考えた上で、公園存続のために一郎たちは、どのような意見を伝えればよいでしょうか。意見交換会の参加者が納得できる意見を考えてみましょう。

◎「合意形成」 ⇒ 「主体的・対話的な深い学び」の必要性

▲「合意形成」を図るために必要なこと

↓

「主体的・対話的な深い学び」

（「アクティブ・ラーニング」が必要になる）

▲教科等（特別活動等を含む）横断的学習

事例①、事例②を現実に実現させるためには？

↓

さらに緻密な「調べ学習」が必要となる

（予算、環境、人的組織等の学習）

◎討議型道徳授業の教育的意義：高校生にとって何が重要か？

▲グループによる「自由な意見表明」の経験

教科授業と違い、学力差によらない意見表明が可能

↓

自尊感情を高めることに役立つ

▲「合意形成」を目指す話し合い活動の経験

意見の相違を超え、歩み寄りを図る話し合いの体験

↓

社会人のスキルとして重要

＜キャリア教育が必要な高校生にとって有効な討議＞

◎協働型道徳授業　⇒　モラル・スキル・トレーニング

＜授業のイメージ＞

行動しようと思っても，具体的な行動を体験していないので実際には「行動しない，できない」生徒たちに，その場に相応しい道徳的行動スキルを身につける授業

＜疑似的体験を通したロールプレイ（役割「演技」）＞

◎協働型授業：【教材：謝るということ】

今日は，高校に入学して初めての遠足です。一年生は茨城県大子町にある袋田の滝に行きました。春子は，高校に入学してすぐに，夏子と親しくなりました。遠足の自由行動でも，二人は時間を忘れて話に夢中になってしまいました。ふと時計を見ると，バスの集合時間になっていました。今から急いでバスに戻っても，30分は遅れてしまう。夏子は「かけ足で戻ろうよ」と言いました。春子は「もう間に合わないから，歩いて行こうよ」と言いました。二人は，結局歩いてバスに向かったのです。1組のバスに戻ると，2組や3組のバスまでも出発せずに待っていました。30分以上待たされたクラスメートたちは，怒った口調で，「謝れよ！」「なに，歩いているんだよ。ふざけるなよ。走れよ。」と言ってきました。クラスメートたちは，心配の余り二人をさがしに周辺を走りまわっていたのです。春子は，遅れてしまったことが悪いとは思っていたけれど，ここまで皆に言われるとは思ってもいなかったので，つい「私たちがどうせ悪いのよ。誤ればいいんでしょ。すいませんでした。」と言い放ったのです。その態度は，誰が見ても反省しているようには映りませんでした。

【話し合い活動のヒント】

①春子は，どうして歩いてバスに向かったのでしょうか。

②春子は，遅れてしまったことを心から悪いと思っていたのでしょうか。

③春子は，どのようにすれば良かったのでしょうか。

①春子は，どうして歩いてバスに向かったのでしょうか。

②春子は，遅れてしまったことを心から悪いと思っていたのでしょうか。

③春子は，どのようにすれば良かったのでしょうか。

◎モラル・スキル・トレーニングの授業方法

①「アイスブレイク」などによる緊張緩和

②資料提示　⇒　教師の範読（読み聞かせ）

② ペア・インタビュー　（2人で相互インタビュー）

次の作業へ意識の切り替え（ベルなどを活用）

③ グループワーク（グループは4名か6名が基本タイプ）

次の作業へ意識の切り替え（ベルなどを活用）

④ グループ発表の成果発表（ホワイトボード）

次の作業へ意識の切り替え（ベルなどを活用）

⑤ ペアによるロールプレイ（自然な流れで！）

⑥ 代表ペアが皆の前でロールプレイ（「日常」から「非日常」への「環境づくり」）

⑦ シェアリング

⑧ まとめ